



NEWS RELEASE

新横浜、日本 2011年1月24日

STARC は Solido Design Variation のツールを 次世代 Analog/Mixed-Signal リファレンスフローに選択

カリフォルニア州 サンノゼ – 2011年1月24日- プロセスばらつきを考慮したカスタム IC デザインのリーダー企業の Solido Design Automation 社と、日本の半導体理工学研究所、STARC は本日、STARC が Solido の Variation Designer を STARCAD-AMS Analog/Mixed-Signal リファレンスフローとして認定し、選択したと発表しました。

STARC は国内の 9 社の主要半導体企業から構成され、そのうち 5 社が Analog and Mixed-Signal (AMS) design に参加しています。STARC の AMS リファレンスフローは先端カスタム IC 設計を支援し、そして全体の作業時間を 50% 減少することを目標としています。STARC の業務の一つはこのベスト・イン・クラスで統合された設計フローをクライアント企業のために評価、支援することです。STARC で用意した Motif 回路（差動オペアンプ回路）で Solido を認定するのに使用した STARC の主要選択基準は：

1. PVT コーナーとローカルミスマッチ条件で設計性能規格を満足する事。
2. セットアップと作業時間全体で 12 時間を超えない事。
3. MOS、抵抗、コンデンサの面積要求を満足する事。

Solido の結果：

1. PVT コーナーとローカルミスマッチ条件で設計性能規格を上回る
2. セットアップ、作業時間全体の 40% でさらなる改善
3. 9% 以下で目標面積のさらなる改善

「Solido の Variation Designer に関し、STARC での上記要求仕様を満足し、STARCAD-AMS フローに組み込む事が出来ました。特に、アナログ設計者にとってプロセスばらつき考慮での回路定数最適化に於いて、インタラクティブな操作が可能となり、

Motif テスト回路において、STARC での要求性能及び実行時間を満足している事を確認出来ました。」と、”坪井邦彦 Mixed Signal 開発室長は述べました。

“Solido の Variation Designer が STARC の analog/mixed-signal リファレンスフローの中心技術として選ばれたことは大変喜ばしいことです、” Amit Gupta、Solido Design 社長兼 CEO は述べています。“最近の独自の調査では、設計者はカスタム IC 回路、シミュレーション、レイアウト技術に変動設計が含まれることを必要としている。STARC は AMS レファレンスフローによるこれらの重要な設計フローの統一の評価により膨大な評価解析を実施しツール選定されました。”

Solido Design Automation について

Solido Design Automation, Inc. は変動を考慮したカスタム集積回路の設計ソフトを供給する先進の企業です。Solido の Variation Designer とアプリケーションパッケージは analog/RF、I/O、メモリー、スタンダードセルデジタルライブラリーなどのカスタム IC 設計者により、設計性能、特性歩留まり、設計者の生産性の改善に使われています。ベンチャーキャピタルに支援されたプライベート企業であり、U.S.A.、Canada、日本そしてヨーロッパにオフィスがあります。さらなる情報は、ウェブサイト www.solidodesign.com をご参照ください。

STARC について

Semiconductor Technology Academic Research Center (STARC) は、主だった日本の半導体企業により共同で 1995 年 12 月に設立された研究コンソーシアムです。STARC のミッションは最先端の SoC 設計技術を開発することで、日本の半導体業界の発展に寄与することです。

さらなる情報はウェブサイト www.starc.or.jp をご参照ください。

本件のお問い合わせは、<https://www.starc.jp/other/contactus-j.html> をお願いします。

...

###end###